

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-3-2		事業名	首都圏ビジネスチャンス拡大支援事業			
担当	総務局東京事務所 小野 Tel 03-3216-5090						
全体計画							
事業内容	これまで東京事務所が取り組んできた情報関連産業の首都圏における販路拡大支援で培ったノウハウや人的ネットワークを活用し、より幅広い産業分野の販路拡大等、市内企業の首都圏進出をハード・ソフト両面から支援するため、以下の事業を行う。 首都圏販路拡大支援事業:IT、バイオ、デザイン、デジタルコンテンツやものづくりなどの産業分野において、高い技術や優れた商品を持つ市内企業に対してプレゼンテーションの場を提供するなど、ビジネスマッチングを図っていく。 ビジネスラウンジ運営事業:東京事務所のビジネススペースを市内企業の首都圏での営業拠点として開放するとともに、ラウンジコーディネーターが販路拡大のノウハウ等を提供する。 首都圏産業ネットワーク拡大事業:さまざまな産業分野に対応可能な首都圏企業等のネットワークを拡大するため、セミナー、勉強会を開催するとともに、webによる情報発信などを行う。			<年度別の事業内容>			
				首都圏販路拡大支援事業(19年度～22年度) 19、20年度...ものづくり(印刷業)、バイオ分野 21、22年度...ものづくり(機械・金属)、デザイン、デジタルコンテンツ ビジネスラウンジ運営事業(19年度～22年度) 首都圏産業ネットワーク拡大事業(20年度～22年度) ・ビジネス交流会 ・ビジネスwebサイトの構築、運用			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	首都圏販路拡大支援事業 ものづくり(印刷業)及びバイオ分野において、高い技術や優れた製品を持つ市内企業にプレゼンテーションの場を提供し、首都圏企業と市内企業とのマッチングを図った。 ・コンサルティング事業:印刷業、バイオ関連企業各1回開催 (参加企業数)市内企業:9社 ・プレゼンテーション大会:同上 (参加企業数)市内企業:6社、首都圏企業:64社 ・ビジネス交流会(試行):札幌関係者限定2回、ノンジャンル1回開催 (参加企業数)首都圏企業:84社 ビジネスラウンジ運営事業 東京事務所のビジネススペースを市内企業の首都圏での営業拠点として開放するとともに、コーディネーターが販路拡大のノウハウ等を提供した。 ・ラウンジ利用者数:535人			首都圏販路拡大支援事業 19年度に引き続き、ものづくり(印刷業)及びバイオ分野において、首都圏企業と市内企業とのマッチングを図る。 ・コンサルティング事業:印刷業、バイオ関連企業各1回開催 ・プレゼンテーション大会:同上 ビジネスラウンジ運営事業 19年度と同じ 首都圏産業ネットワーク拡大事業 ・ビジネス交流会:札幌関係者限定2回、ノンジャンル2回開催 ・ビジネスwebサイトの構築、運用開始			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
販路拡大支援事業への首都圏参加企業数	94社	148社	160社	180社	200社	200社	
ビジネスラウンジ利用者数	323人	535人	500人	500人	500人	500人	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] もともと本事業は企業を対象としたものであるが、プレゼン大会、ビジネス交流会等は、その趣旨・内容が企業から企業へと伝わることによって参加者が増大するなどの事業効果が高まることが期待できる。 [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	2-3-2	事業名	首都圏ビジネスチャンス拡大支援事業				
評価(成果)		課題					
<p>首都圏販路拡大支援事業では、ものづくり(印刷業)及びバイオ関連産業の支援を行った結果、8件、90,300千円(18年度支援企業分を含む)の商談が成立した。</p> <p>情報関連産業の販路拡大支援については、さっぽろ産業振興財団の自主事業に移行させたことにより、より幅の広い支援が可能となった。</p> <p>首都圏企業のネットワークは、IT関連企業のほか印刷関連やバイオ関連も含むさまざまな業種で100社を超える規模に拡大しており、その中から「札幌企業応援団」ともいえるコア企業群が形成されてきている。</p>		<p>優れた技術、製品を持つ企業のマッチング機会の増大 さまざまな産業分野の支援に対応しうる首都圏の産業ネットワーク拡大 市内企業に対するビジネスラウンジ活用のさらなる周知</p>					
今後の事業の予定・方向							
<p>首都圏での販路拡大支援事業については、引き続き、ものづくり(印刷業)及びバイオ関連企業の支援を行うとともに、今後、構築予定のビジネスwebサイトを活用するなど、マッチング機会の増大を図っていく。</p> <p>東京事務所におけるビジネス支援インフラとしての産業ネットワーク拡大を図るため、ビジネス交流会の開催やビジネスwebサイトによる情報発信を進める。</p>							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	9,500	11,200	11,200	11,100	43,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	9,500	11,200	11,200	11,100	43,000
予算	事業費	9,500	10,725	-	-	20,225	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	0	0			0
		その他	0	0			0
		一般財源	9,500	10,725			20,225
実績	事業費	9,028	-	-	-	9,028	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	0				0
		一般財源	9,028				9,028
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				45.9%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度]							